

令和6年度第2回健康づくり推進協議会議事録（要旨）

1. 日時

令和6年10月30日（水）午後1時30分～2時30分

2. 場所

合志市防災センター 避難所1

3. 出席者

委員：奥田聡哉 春野雅敏 楠田美佳 田中裕子 辻るみ 大塚薫 西原萌子 松崎景子 衛藤政彦 関祐子 森涼子 飯塚恵美子（敬称略）

事務局：坂本健康福祉部長 末永健康ほけん課長 田中課長補佐 大塚主幹 溝口主査 栗崎保健師

4. 欠席者

なし

5. 会議の公開・非公開の別

公開

6. 議事の要旨

(1) 開会

事務局

(2) 健康福祉部長挨拶

(3) 議事（議長＝会長）

第一号 合志市第3次健康増進計画食育推進計画策定について、事務局より説明意見等）・子どものむし歯、スマホの利用や家庭環境（経済状況）も関わってくるのではないかと思うので、難しい部分もあると思うが、このあたりの観点を分析して状況が分かるといいのではないか。

・むし歯の有病率が改善しているのは、窓口での自己負担がないため、保護者が受診させやすいことが効果につながっているのではないか。一方で、虫歯がある子はたくさん持っている。各家庭の捉え方の差が出てきている。歯周疾患検診の受診率はやはり低い。（改善策はなかなか難しいが）

・評価の視点として県や国との比較を入れると分かりやすい。がん検診などは数字があるのではないか。永久歯と乳歯のむし歯では違うので表を分けるなど指標の出し方を検討されると良い。有病者率、歯周ポケット保有率という言い方の修正。歯周病の基準はポケット数4mmなので、指標を変えた方がいいのではないか。むし歯の減少率は学校の対応の成果がでたと思う。

悩みを相談できるという男性が少ないので注視した方がいいのではないか。

・がん検診について第1回でC評価があったので、県や国の受診状況との比

較もあるといいのではないか。

・朝食を食べる時間がないのは、睡眠時間が足りず朝起きられないからではないか。理想的な睡眠時間と比べてどうなのかがわかるとよい。むし歯は、祖父母が自分の箸で食べさせることでむし歯菌がうつるなどの影響もあると思う。

・子どもの肥満に関して、コロナ感染症の影響によって運動不足の子どもがおり、昔できていたような動きができていない。中学校の部活動が地域移行になっており、その影響による運動不足も懸念している。むし歯に関しては、小中学校で行っているフッ化物洗口はむし歯の減少につながっているのではないか。早寝早起きはスマホの使い方も影響しているので、今日の結果は現場にも持ち返っていきたい。

- ・健康に関心の高い方のアンケート結果になっていると思うので、そうでない方の意見を吸い上げる必要がある。こどもたちのアンケート結果で、ストレスを抱えている中学生女子の割合が高いのは気になる。心の健康についてどのような手段が必要か計画に盛り込んでほしい。
- ・合志市の現状を知ることができた。健康寿命と平均寿命の差があるのは怖いと感じた。年代別に課題解決していける計画を進めてほしい。
- ・医療費が高いというのは、自分自身も多く薬をもらっているので分かる。食事面に関しては、日頃自分はスマホでレシピ検索をして作るなどしており、家庭料理において、情報をどのように活用できているか、こどもはどんな食事をしているのかなど知りたい。
- ・高齢者対象だが、孤食対策として食事会の活動をしており、8年になる。
- ・健診受診率の低い状況が続いている。この結果をふまえ、今後の対策を考えていかななくてはいけない。アンケートでは中学2年生と小学5年生の朝ごはんの摂取割合は高いが、実際に聞くと食べていないと答える人が多い印象がある。学校での食育活動のときに、食べていないと2~3時間目に眠くなると養護教諭に聞いた。今後も食に関する活動は進めていきたい。
- ・日頃の地域活動を通じて、健康づくりの普及啓発をしている。家族に高齢者サロンに行くことを止められる人がいたり、こどもがご飯を食べていなかったりなどの現状がある。夕食が遅いと、朝は食欲がないのではないか。特定健診受診勧奨のポスターを掲示しているが、もっと他にいい方法がないか。

第二号 その他について、特になし。

- | | |
|--------------|-----|
| (4) 次回会議予定案内 | 事務局 |
| (5) 閉会 | 事務局 |